

ほろのべの窓

幌延町広報誌 No.743

2026
9
月号



▲名林公園まつり「幌延ど真ん中踊り」

○令和8年度 エネルギー関連施設見学会(児童・生徒の部)
を開催しました!(広報・調査等交付金事業)

○ほろのべの防災

家族防災会議～「もしも」に備えて話し合う～

特集 第53回ほろのべ 名林公園まつり

○ほろのべ議会だより第144号

○まちの話題

○ねんきん通信

○町民くらしのカレンダー/寄附/戸籍の窓

○地域おこし協力隊通信/俳句/新規採用職員の紹介
まちのうごき



▲名林公園まつり「エンディング打ち上げ花火」

幌延町ウェブサイト <https://www.town.horonobe.jp/>



8月3日(月)～8月5日(水) 令和8年度 エネルギー関連施設見学会(児童・生徒の部)を開催しました! (広報・調査等交付金事業)

8月3日(月)から8月5日(水)にかけて、エネルギー関連施設見学会を実施し、小中学生40名(小学生17名、中学生23名)が参加しました。

1日目は、町内のゆめ地創館でセンターの概要や研究の背景・必要性について説明を受けた後、稚内青少年科学館へ移動し、体験型コンテンツを通じて、科学について楽しく学びました。その後、飛行機で茨城県水戸市へ移動し、そこで宿泊しました。

2日目は、宿泊先の茨城県水戸市から大洗町へ移動し、大洗研究所と大洗わくわく科学館を見学しました。大洗研究所では、CO₂を排出しないクリーンな水素製造や、メルトダウンを起こさない安全性が高い黒鉛構造材などについて説明を受け、原子力が電気をつくるだけでなく、未来の生活に役立つさまざまな研究につながる可能性について学びました。

大洗わくわく科学館では、葉脈しおりづくりや体験型コンテンツを通じて、科学の楽しさを体験しました。その後、つくば市へ移動し、つくばエキスポセンターを訪れ、展示や体験型コンテンツを通じて、光や電気、力などについて学びました。

今年度は例年に比べて涼しい中、参加した児童・生徒は最後まで熱心に学びました。今回の見学会をきっかけに、今後も科学への関心を深め、さまざまな知識を身につけていくことを期待します。



つくばエキスポセンター

お問い合わせ先:総務企画課 企画振興係 電話:5-1114 告知端末機:5-8814



みなさん、こんにちは。9月1日は「防災の日」、8月31日から9月5日までは「防災週間」です。
今月号では、「防災週間」特集として、家族で防災について話し合う「家族防災会議」を紹介し
ます。家族が集まる機会に、ぜひ取り組んでみましょう！

1 ハザードマップの確認

まずは「幌延町ハザードマップ」を広げ、自宅や学校、勤務先にはどのような災害リスクがあるのかを確認し、最寄りの避難場所や避難所までの避難ルートを考えてみましょう。また、ハザードマップには地図面だけでなく、裏面にも防災に関するさまざまな情報が掲載されています。この機会にハザードマップを裏返して、どんな情報が載っているのか確認してみましょう！

幌延町ハザードマップ (Web版)	「幌延の防災」6月号 避難場所と避難所の違い
	



2 集合場所の確認

災害発生時は混乱が起こりやすく、携帯電話などの連絡手段が使えなくなることがあります。家族がそれぞれ別の場所にいる場合や連絡が取れなくなった場合に備え、事前に最寄りの避難所や避難場所を集合場所として決め、家族で共有しておきましょう。

3 非常用持出袋・備蓄品の確認

「非常用持出袋」とは、避難するときに必要なものをまとめておく袋です。飲料水や非常食、衛生用品、常備薬など、一人ひとり必要なものを入れ、玄関などすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。リュックタイプなら、両手が空くので便利です。

「備蓄品」は、在宅避難に備えて必要なものを確認し、準備しておきましょう。非常食や飲料水のほか、簡易トイレなどの衛生用品、カセットコンロなどの調理器具も用意しておくことで安心です。広報誌7月号・8月号でも特集していますので、ぜひ再確認してみましょう。

「幌延の防災」7月号 ローリングストックで 無駄なく備蓄を！	「幌延の防災」8月号 夏の防災 脱水症状や熱中症を予防しましょう！
	



ほろのべ 公園 まつり

8月8日
(土)



オープニングテープカット



稚内大谷高校吹奏楽部



雪印メグミルク(株)
ジュース配布



幌延中学校吹奏楽部



メインステージ
アイデンティティ



大道芸人
「ロイヤル」



大道芸人「たっち」



ライブステージ
井上 仁志



ライブステージ
小柳ゆき

8月9日
(日)

第53回 名林



お楽しみ大抽選会



ミニゲーム大会(子供向け)
かき氷早食い競争



日本野鳥の会 PRステージ



宗谷ダンスプロジェクト



賞金争奪綱引き大会



子ども盆踊り大会
子ども仮装盆踊り大会



JA幌延町青年部による
牛乳無料配布・搾乳体験



ご当地アイドル ローワンベリー



盆踊り大会
仮装盆踊り大会



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第144号

- 発行 北海道幌延町議会
- 編集 議会報編集委員会
- 電話 01632-5-1111
- FAX 01632-5-2971

主な内容

一般質問	6~7
第4回幌延町議会定例会	8
第3回幌延町議会臨時会	8~9
町内行政視察	9
北留萌消防組合議会	9~10
西天北五町議会	10
第4回まちづくり常任委員会	10
全道議員研修会	10
管内議員研修会	10~11
北海道町村議会議長会表彰	11
議会の動き	11
編集後記	11



2氏が質問

一般質問 第4回定例会（6月16日）

地域の課題をとらえて

■ 深澤 博幸
■ 齋賀 弘孝



深澤 博幸

・多世代交流施設整備事業の一時中止について

令和5年に交流拠点基本構想策定委員会を設置し、令和10年度オープン予定で進めてきた。

今年3月定例会執行方針や4月号ほろのべの窓で突然の一時中止発表がされた。財政シミュレーションや物価高騰などが原因らしいが、次の質問をいたします。

【質問】事業の目的は。

【町長】平成26年度から検討。観光・防災・レジャーなどの機能を併せ持つ複合施設の整備を進め、その後、令和4年度に、町民の利便性向上につながる機能やサービスを重視。温浴施設などの更新を要する機能を併せ持った複合的な多世代交流拠点を整備することに決定。

【質問】諮問委員は何名で経費、答申内容は。

【町長】委員は20名。令和5・6年度合わせて経費は報酬、費用弁償、会場使用料

含めて31万4900円。意見は171件。

答申は、おおむね適正と認められ、誰もが使いやすい施設であり、町民の意見を聞くこと各種補助金活用による自主財源の削減、期間の短縮による早期着手するなどの意見が付され、7年度で本施設に係る業務の一時凍結に至り、会議の開催は年2回程度。

【質問】整備中止を決定した判断の時期は。

【町長】基本計画の樹立に取り組んできたが、建設単価の上昇により町の財政状況を推計した結果、町の財政収支を圧迫する見通しとなり、まずは教育環境を整えるため、同時期に予定である小中一貫校事業を優先して行うこととした。

結果報告は令和8年第2回議会定例会における行政報告、広報誌、町内会長会

議でお知らせ、中学生の皆様にも意見を頂いているので、こども議会冒頭、報告したい。

◆ 今後は、令和10年度に補助金などの財源めどがついた段階で再開を検討することになっているが、小中一貫校整備後の財政状況によっては業務を再開できない可能性もあり、今後の予定は令和10年度に業務再開を検討。再開する場合、令和11年度、再度、基本計画の策定を開始、令和14年度工事着工、令和16年度併用開始予定している。

◆ 答申時に付された要望を反映するとともに、再度、町民のご意見を聞き、創生会議の諮問も考えている、**質問**◆ 子供たちの要望、憩いの場、大人との振れ合いの場所をどのように認識しているのか、町長、教育長に伺います。

◆ **町長** コミュニティ場所は必要。多世代の交流ができる施設は必要不可欠だと思っている。

◆ **教育長** 異世代交流は非常に大切ととらえている。学

校整備も同様なこととも考えている。



斎賀 弘孝

・ふるさと同窓会を活用した関係人口創出事業の継続と開発戦略について

◆ **質問** 5月に開催された「といかん・ふるさと同窓会三札幌」には約90名が参加され、大変好評だった。町長は参加してどのような感想を持ったのか。また、関係人口だけでなく、幌延地区などでも同様の同窓会を開催し、町を応援してくる関係人口づくりにつなげていく考えはあるのか。

◆ **町長** 懐かしい写真や動画、校歌などを通じて、参加者がふるさととの雰囲気を感じることができ、まさに同窓会と呼べるイベントであったと感じている。参加者の7、8割が関係人口の出身者や居住経験者、その親族であり、地域とのつながりを深める機会となった。

◆ 今後、他地域で展開する場合には、地域づくりの目的や意義を明確にし、継続して活動できる組織や担い手づくりが重要である。行政が主体となるのではなく、地域の方々が中心となって取り組める体制づくりを支援していきたい。



といかん・ふるさと同窓会 in 札幌

◆ **質問** 国では「ふるさと住民登録制度」の取組が進められている。本町はモデル事業へ応募していないが、

制度への参加や今後の準備についてどのように考えているのか。

◆ **町長** 現在、国では制度構築やアプリ開発に向けた検討が進められており、モデル事業を通じて内容の検証が行われている。本町としては、国の動向や検証結果を注視しながら、本町にとっての活用意義や目的を見極め、制度への参加を検討していく。また、制度への参加に関わらず、地域で必要としている担い手や、関係人口との関わりを深める方法について検討を進めていく。

◆ **質問** 町公式LINEについて、現在は登録者も少なく、情報発信や住民との双方向の交流を進めるには改善が必要と考える。利用しやすいメニュー設定や情報収集機能の導入を進める考えはあるのか。

◆ **町長** LINEは有効な情報発信手段であると認識している。一方、双方向のやり取りを行うためには、寄せられた情報への対応体制も必要。まずは基本的な情

報発信から進めながら、必要な機能や運用方法について調査・検討していく。

◆ 今後、LINEなどのSNSを活用し、町民だけでなく、町出身者や町を応援していただける方々とのつながりを広げ、関係人口の創出につなげていきたい。

町では、地域の皆さんや幌延を訪れる方に、町の魅力を再発見してもらうきっかけづくりとして、LINEで地域のステキな幌延投稿を募集しています。

お気に入りの風景や場所、日常のひとコマなど、身近な幌延の魅力を投稿していただき、町公式 SNSなどで発信しています。



LINE (ライン) QRコード

6月16日

第4回幌延町議会

定例会

第4回幌延町定例会が6月16日（火）に開会され、2名の一般質問のほか、報告5件、同意9件、議案6件のほか、意見案1件、発議2件を慎重審議した結果、全て原案の通りに可決し、閉会した。

主な内容は次のとおり

行政報告

問寒別地区をモデルに進める地域コミュニティ形成事業の一環として、5月23日、札幌市の道庁赤れんが庁舎で「といかん・ふるさと同窓会『札幌』」を開催した。昨年の東京開催を受け、道内では初の開催となり、全道各地から延べ約90人が参加。ふるさとの映像上映や特産品の試飲、問寒別室内楽団による校歌の生演奏を通じて交流を深めたほか、参加者からは地域づくりに関する多くの意見や提案が寄せられ、今後の取組につながる有意義な機会

となった。

教育行政報告

令和8年度の児童生徒数は、小学校2校11学級85人、中学校2校7学級53人。各校で運動会・体育大会を開催し、多くの地域住民が声援を送った。中体連や各種大会では陸上、柔道、バレーボールなどで全道大会出場を決めるなど活躍が見られた。社会教育・社会体育事業は年間計画に沿って実施し、スポーツ少年団も剣道、野球、バレーボールで

好成績を収めるなど、地域のスポーツ活動が活発に展開された。

議案第1号

町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

医師宿直手当の一部未支給事案及び公務災害手続に関する不適正な事務処理事案により、町政に対する町民の信頼を損なったことへの責任を明らかにするため、町長及び副町長の給料を令和8年7月支給分に限り、それぞれ10%減額するもの。

併せて、町民及び議会に対する謝罪の意を表明するとともに、再発防止と服務規律の徹底を図り、信頼回復に努める考えを示した。

議案第4号

令和8年度幌延町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ8千757万7千円を追加し、予算総額を6億8千757万7千円とするもの。

主な内容は、利用実態のない集会施設の解体、地域コミュニティ形成事業、地域おこし協力隊の処遇改善、国民健康保険診療所特別会計への繰出金、給食センター厨房設備の更新、学校給食費負担軽減事業など。

齋賀議員

地域コミュニティ形成事業の委託料について、どのような成果を求めるものなのか。また、成果物の活用方法や国からの補助制度は。

山下地域対策担当課長

関係人口の創出に向け、地域PR動画の制作、地域キャラクターの作成、住民との懇談会運営などを行うもの。完成した動画やキャラクターは、

SNSでの情報発信や地域PRなどに活用していく。財源は、過疎地域持続的発展支援交付金を活用して実施する。

齋賀議員

LINEの登録者数を増やすためには、利用者の利便性を高めるメニュー機能の設定を早期に進める必要があるのではないか。

山下地域対策担当課長

まずは町の情報発信を通じて登録者を増やしていきたい。メニューは、無料で活用できる機能を検討しながら運用を進め、登録者数や利用状況に応じて必要な機能の導入を検討していく。

齋賀議員

給食センターの食器洗浄機など厨房設備の更新について、購入方法はどういうふうに考えているのか。

古草教育次長

現在使用している厨房機器との適合性を考慮し、既存設備の製作業者との随意契約を検討。

意見案第1号

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について

・提出者 高橋 秀之議員
・賛成者 無量谷 隆議員

北海道の森林は、地球温暖化の防止や国土の保全など重要な役割を担っている。一方、物価・人件費の高騰や山地災害への対応、林業の担い手不足、スマート林業の推進など、森林・林業を取り巻く課題は多様化しており、地方の財政力だけで対応することは困難な状況にある。

このため、森林整備や国土強靱化に必要な予算の確保をはじめ、木材利用の拡大や人材確保など、森林・林業・木材産業施策の充実・強化を国に求めるため、本意見書を提出するものである。

5月19日

第3回幌延町議会

臨時会

第3回幌延町議会臨時会は、5月19日（火）に開会され、承認2件、議案7件を原案どおり可決し、同日、

閉会した。

主な内容は次のとおり

議案第3号

工事請負契約の締結について（宮園団地特定公共賃貸住宅（3号棟）改修工事）

【深澤議員】

物価高騰や原油価格の上昇などで工事費や工期への影響はあるのか。

【角山産業建設課長】

資材価格や物資調達は不安定な状況が続いている。今後、設計変更や工期延長が必要となる可能性もあり、受注者と協議しながら対応していく。

【深澤議員】

過去に実施の宮園団地1、2号棟の改修工事と比較して、今回の工事費はどう変化しているのか。

【角山産業建設課長】

物価や人件費が上昇し、工事単価も上昇傾向にある。

【深澤議員】

資材不足などにより工期が遅れる場合、業者との協議は行われるのか。

【角山産業建設課長】

工期への影響が生じた場合は、受注者と発注者で協議し、内容を精査した上で、必要に応じて設計変更などの対応を行う。

議案第6号

工事請負契約の締結について（幌延下水道管理センター汚泥脱水機外更新工事（機械設備））

【植村議員】

電気設備と機械設備を合わせると大きな事業費となるが、財源内訳はどのようになっているのか。

【宮下上下水道係長】

国の補助金1/2を見込んでいたが、全国的な工事量の増加により補助金の配分が不透明な状況となっている。今後、道へ変更申請を行い、補助金の増額について要望していく。

【角山産業建設課長】

不足する財源は、下水道事業債や過疎債を活用して対応。

【佐藤議員】

今回の設備更新は、更新時期を迎えたことによるものか。また、日常的な点検やメンテナンスは行っているのか。

【宮下上下水道係長】

下水道施設の供用開始から約26年経過し、設備が更新時期を迎えている。定期的にオイル交換を行い、異音などが確認された場合はメンテナンスを実施している。

議案第7号

財産の取得について（幌延町国民健康保険診療所自動分析装置購入）

【深澤議員】

更新は故障による緊急対応か。また、当初予算には計上されていたのか。

【村上国保診療所事務長】

導入から10年経過し、部品製造が終了している。故障で検査不能となることを防ぐため、故障前に更新。購入費は当初予算に計上している。

議会を傍聴しませんか！

議会は町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。

皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などをぜひ直接ご覧ください。

議会の日程は告知端末機でお知らせしています。

町内行政視察

令和8年7月8日

教育委員会所管の2か所を行政視察した。

初めに総合体育館トレーニング室の器具更新が完了したことを受け視察。

令和6年度から3か年計画で約1千4百万円かけて整備した。

町民の健康増進に一度は足を運んで。



トレーニング室の視察

次に金田心象書道美術館前庭にある石碑銘板を視察。石碑銘板を製作した奥村公規氏は令和7年7月に人間

国宝に認定された。

奥村氏は心象先生の門弟である村井虹城氏と親交があり、心象館オープンに間に合うよう石碑銘板の製作を依頼されていた。

教育委員会では、奥村氏の銘板と心象館を一体で広く周知していくとともに、奥村氏とご縁を教育行政に活かしたいと考えている。



心象書道美術館石碑

第2回北留萌消防組合議会臨時会

（5月21日）

5月21日、臨時会が招集され、無量谷議員が出席した。

本臨時会では、繰越明許に係る繰越計算書の報告、令和7年度一般会計補正予算の専決処分承認、令和8年度一般会計補正予算及び請負契約の締結に関する議案などが上程され、慎重審議の結果、すべて可決・承認された。なお、今回の審議案件の中に幌延町に係するものはなかった。

西天北五町衛生施設組合議会定例会 (7月13日)

7月13日、臨時議会が招集され、高橋秀之議員と深澤議員が出席。

西天北リサイクルプラザ最終処分場第2段目築堤造成工事の入札についてを議題として可決された。

5社による指名業者にて9千9百55万円。(株)石山組が落札。工期は令和8年12月29日。

平成29年1段目、今回2段目。3・5mのかさ上げ。

第4回 まちづくり常任委員会 6月3日

・調査事項(抜粋)

(1)教育委員会所管

①幌延中学校区小中一貫教育の進捗状況について

2月以降の経過として、教育委員会での協議をはじめ、教職員やPTA、児童・生徒への説明を実施したことが報告された。また、実施設計を進めており、仮校舎の設計も進行中であることが説明された。新校舎への太陽光発電設備の設置は、環境省及び文部科学省の補助制度を活用した2案を比較検討した結果、いずれも初期費用や維持管理費を含めた長期的な収支で費用回収が見込めず、大幅な赤字となる試算が示されたため、現時点での設置は見送り、今後、設備性能の向上や有利な補助制度が創設された場合に改めて検討する方針との説明があった。

(2)総務企画課所管

①職場における各種ハラスメントの防止について

「幌延町職員のハラスメントの防止等に関する要綱」及び「ハラスメント防止に関する指針」を6月1日から施行したことが報告された。対象は全職員とし、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント、SOGIハラスメント、モラルハラスメント、カスタマーハラスメントなどを対象とする。相談窓口や対策委員会を設置し、相談体制や調査・再発防止の仕組みを整備するとともに、定期的な職員研修や管理職研修を実施し、風通しの良い職場環境づくりを進める考えが示された。

か」との指摘に対し、町側は反省を踏まえ、人材確保と離職防止につながる職場環境の改善に取り組む考えを示した。

北海道町村議会 議員研修会 (7月2日札幌市開催)

全道の町村議会議員が一堂に会して、議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催された。

毎年恒例の全道議員研修会に議員全員が参加。

はじめに全道議長会会長の渡部孝樹氏(厚真町)の開会のあいさつに続き、牧瀬稔氏(関東学院大学法学部地域創成学科)「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実例」と題し、講話され、地方における人口減少に伴う解決策の事例を紹介されて、今後の議員活動の一躍に期待すると伝授された。

次にジャーナリストの須田慎一郎氏による「どうなる政治・経済」日本再生のために何が必要か」須田

氏はテレビ出演でおなじみの方で、現在の日本の立場や高市内閣の裏側を毒舌を交えながら楽しく、興味ある講演だった。

今後の議員活動の研鑽に努めようと感じた。



全道議員研修会

宗谷管内町村議会 議員研修会 (5月19日稚内市開催)

毎年恒例の宗谷管内議員研修会がサフィール稚内ホテルにて開催され、6名の議員が出席。

講演は「稚内市におけるこれまでの災害と防災対策について」と題し、稚内気象台次長の今井達也氏が講



管内議員研修会の様子

演された。災害は必ずやってくる。危険な場所から「避難」することが一番。

宗谷地方の地震・大雨と暴風雪の事例と対策などの重要性について有意義に聞き入った。

その後、幹事町の枝幸町議会の進行により、懇親会が開催され、稚内市議会議員も出席し、各町村の特産品が当たる抽選会で盛り上がった。

各テーブルでは会話と議論が熱く語られ、次期幹事町の礼文町議会菅原議員会長の万歳三唱で閉められた。



深澤博幸議員受賞（15年）
議員歴 平成7年～19年、
令和5年～現在
生年月日 S25年7月23日
趣味 スポーツ観戦

※在職年数の計算は議長の職にあった期間は1か月を2か月に、副議長の職にあった期間は1か月を1・5か月に換算

高橋秀之議員受賞（25年）
議員歴 平成19年～現在
生年月日 S28年7月7日
趣味 ゴルフ

高橋秀之議員（25年）・深澤議員（15年）が北海道町村議会議長会より表彰され、西澤議長より伝達された。

北海道町村議会 議長会表彰

議会の動き

- 5月15日 ▶ 議会報発行編集委員会を開催し、編集委員全員が出席
- 5月19日 ▶ 第3回幌延町議会臨時会が開催され、議員全員出席
- 5月19日 ▶ 総合体育館及び心象書道美術館を行政視察し、議員全員出席
- 5月19日 ▶ 宗谷管内町村議会議員研修会が稚内市で開催され、議員6名が出席
- 5月21日 ▶ 北留萌消防組合議会臨時会が開催され、組合議員が出席
- 6月3日 ▶ 第2回議会運営委員会を開催し、委員全員出席
- 6月3日 ▶ 第4回まちづくり常任委員会を開催し、委員全員出席
- 6月3日 ▶ 第3回全員協議会を開催し、議員全員出席

- 6月16日 ▶ 第4回幌延町議会定例会が開催され、議員全員出席
- 7月2日～3日 ▶ 北海道町村議会議員研修会が札幌市で開催され、議員全員出席
- 7月7日 ▶ 蘭越町議会が行政視察に訪れ、西澤議長、齋賀副議長が対応
- 7月13日 ▶ 西天北五町衛生施設組合議会臨時会が開催され、組合議員2名が出席
- 7月13日 ▶ 第5回まちづくり常任委員会を開催し、委員全員出席



編集後記

夏の暑さも過ぎ去り、朝夕は涼しく過ごしやすい季節となりました。皆さまには、健やかに過ごすごのことにと思います。

近年、気候変動や温暖化の影響により、農業を取り巻く環境も変化しています。幌延町においても、トマトのビニール栽培やソバ栽培など、新たな取り組みが始まり、産業の形も少しずつ変わりつつあります。基幹産業である酪農に携わる皆さまをはじめ、地域を支えてくださる方々のご努力に敬意を表します。

世界情勢が不安定な中、私たちの町にも農業や商業などさまざまな変化が訪れています。編集委員として、町の動きを身近に感じながら、皆さまに分かりやすく親しまれる議会報をお届けできるよう努めてまいります。今後ともご愛読、ご協力をよろしく願いたします。

議会報発行編集委員

委員長 深澤博幸
副委員長 佐藤忠志

委員 無量谷隆
委員 高橋秀明

7月25日(土)
7月26日(日)

おもしろ科学館2026 in ほろのべ

エネルギーや科学の不思議を楽しく体験しながら学べる「おもしろ科学館inほろのべ2026」を開催し、延べ約17,700人が訪れました。

会場となった総合体育館とゆめ地創館には、さまざまな体験型コンテンツが並び、来場者は楽しみながら科学への理解を深めました。

また、屋外ステージではステージショーやビアガーデン、カラオケ大会などが行われ、大いに盛り上がりました。



▶総合体育館



▶ゆめ地層館



▶屋外ステージ

7月28日(火)

幌延深地層研究計画 令和7年度調査研究成果 地域の皆様方への報告会

国際交流施設にて、幌延深地層研究センターによる「幌延深地層研究計画 令和7年度調査研究成果報告会」が地域住民を対象に開催されました。

報告会では、令和2年度以降の必須の課題である3つの課題に関する研究成果や、地下施設の建設・維持管理などについて説明があり、最後に質疑応答が行われました。



▶センター職員による説明



▶会場の様子

7月29日(水)
7月30日(木)

問寒別神社例大祭 2026

7月29日、問寒別町民会館前にて、「問寒別神社例大祭 宵宮祭」が開催されました。会場では、縁日やカラオケ大会などが行われ、多くの方が楽しいひとときを過ごしました。

30日に行われた「問寒別神社例大祭 本祭」は、あいにくの雨で御神輿渡御が中止となりましたが、問寒別小中学生によるよさこいやサロベツ太鼓保存会による演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりました。



▶問寒別神社例大祭
宵宮祭(カラオケ大会)



▶問寒別神社例大祭 本祭(左:よさこい 右:サロベツ太鼓)

8月1日(土)

消費者還元イベント ビールまつり

幌延町商工会、商工会青年部および商工会女性部主催による「消費者還元イベント ビールまつり」が開催されました。

会場となった商工会駐車場には多くの方々が訪れ、ビールを片手に会話を楽しむなど、思い思いの時間を過ごしました。また抽選会などの催しも行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▶ビールを片手に盛り上がります



▶抽選会

8月5日(水)

こぞくら夏祭り2026

社会福祉法人幌延福祉会が主催する「こぞくら夏祭り2026」が、こぞくら荘正面駐車場で開催されました。

盆踊りや輪投げなどのお楽しみ縁日が行われ、会場は多くの参加者でにぎわいました。お祭りの最後には花火大会が行われ、大いに盛り上がりを見せ、盛況のうちに幕を閉じました。



▶盆踊り



▶輪投げ

8月6日(木)

まちいち縁日

今年で4回目を迎える「まちいち縁日」を、保健センターで開催しました。

今年も放課後児童クラブの子どもたちを招待し、焼きそばやポップコーンなどの食べ物の出店や、スマートボールなどの催しを楽しみました。

参加された皆さんは、さまざまな出店を通じて交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。



▶ポップコーンを貰っています



▶スマートボール

年金生活者支援給付金制度について



○ 年金生活者支援給付金とは

年金生活者支援給付金は、公的年金などの収入やその他の所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

給付金を受け取るには、年金生活者支援給付金請求書の提出が必要です。

○ 対象となる方

■ 老齢基礎年金を受給している場合

次の支給要件を全て満たす方です。

- ・ 65 歳以上
- ・ 世帯全員が市町村民税非課税
- ・ 前年の公的年金などの収入金額_{※1}とその他の所得の合計額が基準額以下_{※2}

■ 障害基礎年金・遺族基礎年金を受給している場合

次の支給要件を満たす方です。

- ・ 前年の所得_{※1}が 4,794,000 円_{※3}以下

※1 障害年金・遺族年金などの非課税収入は含まれません。

※2 昭和31年4月2日以後に生まれの方は909,000円以下、昭和31年4月1日以前に生まれの方は906,700円以下

※3 扶養親族等の数に応じて増額します。

○ すでに年金を受給しており新たに年金生活者支援給付金の対象となる方

老齢・障害・遺族基礎年金を受給している方で、令和8年度において、所得額が前年より減少したことなどにより、新たに年金生活者支援給付金の支給対象となる方には、令和8年9月頃から順次、日本年金機構から簡易な年金生活者支援給付金請求書（はがき型）が送付される予定です。

※すでに年金生活者支援給付金を受給している方は、新たな手続きは不要です。

※原則、お手続きいただいた翌月分から支給の対象となりますので、速やかな請求手続きをお願いします。

○ 新たに各種基礎年金の請求をする方

年金生活者支援給付金請求書を提出していただく必要があります。

障害基礎年金・遺族基礎年金の場合は年金を請求する際にあわせてお手続きください。

65歳になるときの老齢基礎年金の場合は、誕生日の3か月ほど前に基礎年金の請求書と一緒に支援給付金の請求書も同封されて送られてきます。

稚内年金事務所または役場住民生活課税務住民係でお手続きください。（いずれの提出先も郵送にて提出することが可能です。）

年金生活者支援給付金のご請求でお困りになったときは、お電話ください

給付金専用ダイヤル： **0570-05-4092**（ナビダイヤル）

受付時間

月 曜 日：8時30分から19時

火曜日から金曜日：8時30分から17時15分

第2土曜日：9時30分から16時

※月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に19時まで相談が可能です。

※祝日（第2土曜日を除く）、12月29日から1月3日はご利用いただけません。

お問い合わせの際は、基礎年金番号がわかるものをご用意ください。

なお、番号のおかけ間違いが多いようですので、確認の上、おかけくださるようよろしくお願いします。



より、詳細な内容につきましては、日本年金機構または厚生労働省のHPから確認できます。

日本年金機構

(<https://www.nenkin.go.jp/service/jukyu/sonota-kyufu/shienkyufukin/20190805.html>)

厚生労働省

(<https://www.mhlw.go.jp/nenkinkyuufukin/index.html>)



お問い合わせ先 稚内年金事務所 電話：0162-32-7011

住民生活課 税務住民係 電話：5-1112 告知端末機：5-8812

9月 町民くらしのカレンダー

期日	行 事	時 間	場 所
1 火			
2 水	心療内科・精神科		幌延町国民健康保険診療所
3 木	はつらつ教室	9:30～	保健センター
	わくわくひろば	10:30～11:30	子育て支援センター
4 金	にこにこ教室(幌延)	9:30～	保健センター
	運動教室Re:body	19:00～20:15	総合体育館
	問寒別出張診療		問寒別診療所
5 土	長寿まつり	10:00～	国際交流施設 (多目的ホール)
6 日			
7 月	読み聞かせ	11:00～11:30	幌延町生涯学習センター
8 火	運動教室Re:body(問寒別)	10:45～12:00	問寒別生涯学習センター
9 水	子宮・乳がん検診	8:30～10:30	保健センター
		12:30～14:00	
10 木	町内子どもの集い 「ダンスパフォーマンス&ダンス教室」	10:00～11:05	幌延小学校体育館
	すくすく健診	13:00～	保健センター
11 金	まちいちカフェ	9:45～	国際交流施設 (多目的ホール)
	運動教室Re:body	19:00～20:15	総合体育館
12 土	第51回 ほろのベトナムカ イマラソン大会	8:30～12:00	スポーツ公園や上幌延
13 日			
14 月			

期日	行 事	時 間	場 所
15 火			
16 水	心療内科・精神科		幌延町国民健康保険診療所
17 木	わくわくひろば	10:30～11:30	子育て支援センター
18 金	運動教室Re:body	19:00～20:15	総合体育館
19 土			
20 日	幌延町民プール クローズ		
21 月	敬老の日		
22 火	国民の休日		
23 水	秋分の日		
24 木	はつらつ教室	9:30～	保健センター
	移動図書(幌延)	15:30～18:00	認定こども園
25 金	すまいるママ	11:00～	保健センター
	移動図書(問寒別)	15:00～16:30	問寒別へき地保育所
	運動教室Re:body	19:00～20:15	総合体育館
26 土			
27 日	問寒別地区町内対抗 ソフトボール大会	9:00～	問寒別中学校グラウンド
28 月	出張ひろば	10:00～11:00	問寒別へき地保育所
29 火	親子サロン	10:30～11:30	子育て支援センター
30 水	にこにこ教室	10:00～	問寒別生涯学習センター

※ 子育て支援の事業については告知端末機でご案内します。随時ご確認ください。



■お悔み申し上げます
小西 弘子さん(79歳)字幌延
玉根 マツ子さん(88歳)字幌延

戸籍の窓 7月

◇幌延町社会福祉協議会へ
(香典返しの一部)
小西 和弘さん(妻)字幌延

ご寄付ありがとうございます
7月

地域おこし協力隊

通信

VOL.126

商工部門担当 上野 麻衣子隊員



皆さん、こんにちは。商工部門の上野です。

今年度は、ドローンを活用した新たな取り組みとして、四季折々に表情を変える幌延町の自然やトナカイ、酪農風景などを空から撮影し、ドローンならではの視点で町の魅力を発信しています。

また、北海道初となる「ドローンシュート体験会」をおもしろ科学館inほろのべ2026で開催しました。子どもから大人まで多くの方に参加していただき、楽しみながらドローン操縦を体験して、笑顔溢れるイベントとなりました。

これからもドローンだからこそできることに挑戦し、地域の課題解決にも目を向けながら、幌延町に新しい価値を生み出せるよう活動していこうと思っています。



ドローンで撮影した景色



ドローンシュート体験会

新規採用職員の紹介



菊地 健人 (きくち けんと)

- 所 属 総務企画課 財政係
- 出身地 稚内市
- 趣 味 服
- 好きな食べ物 チーズ類

業務効率を意識しながら、一つひとつの仕事を丁寧に進めていきます。

これからどうぞよろしくお願いいたします。



まちのうごき

令和8年7月末日現在 ※()内は前月比

人 口

男 1,073 (+4)

女 939 (+2)

合計 2,012 (+6)

世帯数 1,189 世帯(+3)

七月定例俳句会作品 幌延ほおずき俳句会

小下闇菜食主義者山親爺

庭草と戦かいて汗心地良き

夏の星めがねついたりはずしたり

月明り君のうなじの汗光る

天狗面外せばたらり流る汗

乙女らの汗光る頬美しき

熊谷 陽一

田中 順子

熊谷千恵子

小川遼太郎

佐々木千恵子

富樫とも子



広報ほろのべの窓 9月号

令和8年9月
発行／幌延町

広報へのご意見、ご要望をお寄せください

総務企画課 企画振興係

電話 5-1114 / 告知端末機 5-8814

企画・編集／総務企画課 企画振興係 印刷／株式会社須田製版

幌延町ホームページアドレス／<https://www.town.horonobe.lg.jp>

UD FONT この広報誌は、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

●この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。